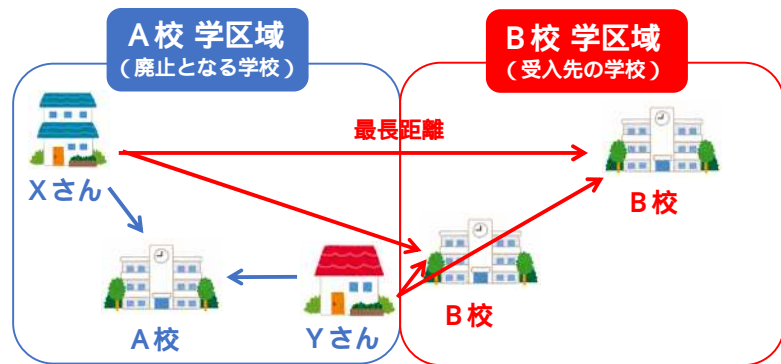


区立小・中学校の通学距離の延長について

適正配置を行う際には、通学する学校が変更となる一部の児童・生徒は通学距離が現状よりも長くなることが予想される。現在の目安である小学校1km、中学校1.5km（直線距離）の通学距離について、どの程度の延長であれば許容されるか検討する必要がある。

1 統合後の通学距離のイメージ



自宅（X・Y）・学校（・）の位置により、統合後の学校までの距離が長くなる場合も短くなる場合もある。最長距離をどのように考えるかについて検討を行う。

2 練馬区の現状（地図データより各校の最長距離を計測）

● 学校における最長の通学距離

学校種別		1	直線距離（m）	道のり（m） （直線距離×1.3）	（参考） 2 想定時間（分）
小学校	学校 A		610	800	13.6
	学校 B		830	1,080	18.4
	学校 C		1,240	1,620	27.5
中学校	学校 A		560	730	8.8
	学校 B		1,290	1,680	20.2
	学校 C		1,760	2,290	27.5

- 1 学校 A は最長距離が区内で最も短い学校、B は最長距離の平均値、C は最長距離が区内で最も長い学校。
2 想定時間は、歩行速度が年齢・個人で様々なため、参考として小学校は1km17分、中学校は1km12分で試算。

現状として、最長距離は学校ごとにさまざまであり、現実に応じた最長距離の見直しも検討

3 新たな通学距離の目安（案）

案 1 最も遠い距離の学校（学校 C）の通学時間を5分延長した場合

	直線距離（m）	道のり（m） （直線距離×1.3）	想定時間（分）
小学校	1,480	1,920	32.5
中学校	2,090	2,710	32.5

案 2 最も遠い距離の学校（学校 C）の通学時間を10分延長した場合

	直線距離（m）	道のり（m） （直線距離×1.3）	想定時間（分）
小学校	1,700	2,210	37.5
中学校	2,410	3,130	37.5

案 3 最も遠い距離の学校（学校 C）の延長は行わない

	直線距離（m）	道のり（m） （直線距離×1.3）	想定時間（分）
小学校	1,240	1,620	27.5
中学校	1,760	2,290	27.5

4 （参考）他区の状況

小学校

1km: 7区（新宿、墨田、渋谷、豊島、北、練馬、葛飾）
1.2km: 2区（足立 江戸川）
1.5km: 1区（港）
2km: 1区（江東） 他12区は定めなし

中学校

1.5km: 5区（墨田、渋谷、豊島、練馬、葛飾）
1.8km: 1区（足立）
2km: 3区（港、新宿、江東） 他14区は定めなし

国の基準は小学校でおおむね4km以内、中学校でおおむね6km以内。平成27年に、スクールバスの利用等、通学実態の多様化を踏まえ、通学時間は概ね1時間以内という目安を追加している（調査の結果、この通学距離の範囲においては、気象等に関する考慮要素が比較的少ない場合、ストレスが大幅に増加することは認められなかったとのこと）。